

教育委員報酬

163 万円
(前年度:163万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育全般の重要事項や基本方針などを決定します。

- ・ 委員長及び委員報酬 163万円

財源

市の負担額 163万円

教育委員会運営費

33 万円
(前年度:33万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育委員会に関する事務を行います。

- ・ 定例会等の会議、各種行事参加の旅費 19万円
- ・ 教育委員視察研修 8万円
- ・ 教育雑誌、切手、郵便代 1万円
- ・ 市町村教育委員会連合会負担金 3万円
- ・ 滑川市・中新川郡教育委員研修会負担金 2万円

財源

市の負担額 33万円

学校医・学校薬剤師報酬

371 万円
(前年度:371万円)

(担当: 学務課 総務係)

小中学校に学校医、薬剤師を配置し、全児童生徒の健康保持増進、環境整備を図ります。

- ・ 学校医、学校歯科医、学校薬剤師、看護師への報酬 371万円



財源

市の負担額 371万円

教育研究奨励費

166 万円
(前年度:187万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育研究事業や学校教育に関する大会等への助成などを行います。

- ・ 内地留学助成費 (教職員が大学で研究をするための費用) 40万円
- ・ 学童体育大会等費用 17万円
- ・ 各種大会賞状印刷代 1万円
- ・ プラスバンド部の定期演奏会費用 10万円
- ・ 各種会費、負担金 98万円

財源

市の負担額 166万円

教育費

健康診断・健康相談事業費 443 万円 (前年度:413万円)

(担当: 学務課 総務係)

学校における児童生徒、就学予定の児童及び教職員等の健康保持増進を図るため健康診断を実施します。また障害を持つ児童生徒の就学指導を行います。

- ・教育支援委員会委員報酬等 2万円
- ・健康診断関係帳票 27万円
- ・教育支援委員会個人調査票作成料 4万円
- ・耳鼻科、歯科検診器具滅菌料 33万円
- ・飲料水検査料 5万円
- ・学校プール水質検査料 17万円
- ・児童生徒健康診断委託料 263万円
尿検査、貧血検査(中2のみ)
心臓検診(小1、小4、中1のみ)
結核精密検査(一部)
- ・教職員健康診断委託料 80万円
- ・耳鼻科検診器具使用料 12万円

財源

市の負担額

443万円

奨学資金 628 万円 (前年度:628万円)

(担当: 学務課 総務係)

経済的な理由等により、高校や大学に進学困難な意欲と能力等を有する学生を支援します。

- ・大学生への奨学金の貸与 384万円
市奨学生選考委員会に諮り、認定された学生に対し、奨学金を支給します。
(卒業後、返済が必要)
- ・大学生への奨学金の給与 144万円
市奨学生選考委員会に諮り、認定された学生に対し、支援金を支給します。(返済不要)
(給与・貸与)
県内大学等に在籍する学生 月2万円
県外大学等に在籍する学生 月4万円
- ・高校生への就学支援金の給与 100万円
市奨学生選考委員会に諮り、認定された学生に対し、支援金を支給します。(返済不要)
1人年間20万円

財源

その他(繰入金)

628万円

幼児教育振興費 17 万円 (前年度:78万円)

(担当: 子ども課 児童福祉係)

幼児教育の振興を図るため支援をします。

- ・私立幼稚園運営費補助金 17万円
幼児教育を担う市内私立幼稚園1園に対して、運営費の一部を補助します。

※対象園・・・希望幼稚園
(令和2年度より新制度に移行予定)



財源

市の負担額

17万円

【一部新】幼稚園運営事業費 8,986 万円 (前年度:419万円)

(担当: 子ども課 児童福祉係)

満三歳から就学前の児童の幼児教育を行います。また、幼稚園の預かり保育などの利用料の無償化、旧制度の私立幼稚園等を利用する園児で第2子以降の子の給食費補助を行います。

- ・施設型給付費 8,710万円
新制度幼稚園に入園している児童の幼児教育に要する費用を幼稚園に支払います。
【新】希望幼稚園分 8,595万円
・市外幼稚園分 115万円
- ・施設等利用給付費 265万円
幼稚園の預かり保育や国立幼稚園に入園している児童の利用料を無償化します。
(上限あり。)
- ・幼稚園保育料軽減事業補助金 11万円
第2子以降の旧制度の私立幼稚園等利用園児の給食費を補助します。
(月額上限4,500円)
第2子 11万円



財源

国県支出金

6,088万円

市の負担額

2,898万円

教育費

奨学事業基金積立金 135 万円 (前年度:116万円)

(担当: 学務課 総務係)

奨学資金基金事業を運営するため積立します。

卒業生が返還するお金と利子を次の世代の奨学生のために、基金に積立します。

財源

その他(奨学資金返済金)	134万円
その他(基金利子)	1万円

教育のまちづくり事業基金積立金 1 万円 (前年度:1万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育のまちづくり事業基金の利子等を積立します。

- ・積立金 1万円

財源

その他(基金利子)	1万円
-----------	-----

教育委員会事務局事務費 461 万円 (前年度:466万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育委員会事務局の運営を行います。

- ・教育委員会事務局運営事業 451万円
旅費、燃料代、FAX使用料、切手代、コピー代など、教育委員会事務局の運営経費
- ・滑川高校と仁川海洋科学高校との国際交流に伴う助成金 10万円

財源

その他(災害共済給付保護者負担金)	106万円
市の負担額	355万円

語学指導外国青年招致事業費 2,004 万円 (前年度:1,802万円)

(担当: 学務課 総務係)

外国語指導助手(ALT)を配置し、児童生徒の英語力の向上を図ります。

- ・外国語指導助手配置事業 2,004万円
ALT4人を小中学校に配置し、外国語授業や外国語活動のサポートを行います。



財源

その他(家賃代)	53万円
市の負担額	1,951万円

教育費

不登校児童生徒適応指導事業費 341 万円 (前年度:316万円)

(担当: 学務課 総務係)

不登校児童生徒に適切な指導を行うために青志会館内に「あゆみ教室」を開設し、相談員を配置します。

- ・報酬等 4人(常時2人体制) 320万円
- ・報償費
臨床心理士、陶芸等指導員謝金 6万円
- ・旅費
指導員研修旅費、野外活動旅費 1万円
- ・消耗品費 屋内、野外での活動材料費
文房具、あゆみ祭材料費 7万円
- ・役務費
携帯電話使用料 1万円
- ・使用料
インターネット、体育館、公園、
宿泊施設使用料 6万円

財源

市の負担額 341万円

心の教室相談員設置事業費 104 万円 (前年度:94万円)

(担当: 学務課 総務係)

児童生徒のいじめ、暴力及び不登校などの問題について対応する相談員を小中学校に設置し、児童生徒、保護者の不安や悩みの相談を行い、家庭・地域と学校が連携しながら支援します。

- ・報酬等 相談員3人 97万円
- ・役務費 電話料 7万円

財源

市の負担額 104万円

特別支援教育推進事業費 2,041 万円 (前年度:1,585万円)

(担当: 学務課 総務係)

障害のある児童生徒をサポートするため、全小中学校へスタディメイトを配置します。
上市町、立山町、舟橋村と協力して教育相談会(地区相談会)を実施します。

- ・スタディメイト賃金 22名 2,033万円
- ・地区相談会講師謝礼 2万円
- ・旅費 スタディメイト研修旅費 6万円

財源

市の負担額 2,041万円

社会に学ぶ14歳の挑戦事業費 96 万円 (前年度:96万円)

(担当: 学務課 総務係)

中学校2年生を対象にボランティア活動や職場体験をする14歳の挑戦事業を実施します。

- ・事業所指導ボランティア謝金 37万円
- ・活動材料費 15万円
- ・連絡用切手、生徒・指導員保険料 36万円
- ・検便検査委託料 8万円



財源

国県支出金 48万円
市の負担額 48万円

学校司書配置事業費 511 万円 (前年度:394万円)

(担当: 学務課 総務係)

全小中学校に学校司書を配置し、市立子ども図書館等と連携しながら、読書活動の推進、読書環境の充実を図ります。
読み聞かせボランティアを配置し、朝読書の習慣化を図ります。

- ・学校司書賃報酬等 508万円
専任1人 兼務4人
- ・学校司書研修旅費 1万円
- ・役務費
読み聞かせボランティア保険料 2万円



財源

市の負担額

511万円

学校評議員設置事業費 75 万円 (前年度:75万円)

(担当: 学務課 総務係)

各小中学校に学校評議員を設置し、より地域に開かれた学校づくりを推進します。

- ・学校評議員設置事業 75万円
各学校に学校評議員を5名設置します。

財源

市の負担額

75万円

小学校英語活動推進事業費 81 万円 (前年度:72万円)

(担当: 学務課 総務係)

外国語に堪能な地域人材を小学校英語活動支援員として学校に配置し、英語力の向上を図ります。

- ・小学校3・4年生対象

財源

市の負担額

81万円

学力向上プラン研究事業費 45 万円 (前年度:43万円)

(担当: 学務課 総務係)

確かな学力向上のために、小中学校で拠点校を指定し、実践的な取り組みを行うなど、学力向上を目指します。

- ・指導助言、講師謝礼等

財源

国庫支出金

45万円

教育費

スクール・ガードリーダー配置事業費 14 万円 (前年度:14万円)

(担当: 学務課 総務係)

登下校時の不審者等による犯罪から児童を守るため、スクール・ガードリーダーを配置し、児童の安全を見守る体制を整備します。

- ・スクール・ガードリーダーの配置
通学路見回り、防犯教室の開催など。



財源

国県支出金	9万円
市の負担額	5万円

確かな学びサポート事業費 109 万円 (前年度:101万円)

(担当: 学務課 総務係)

標準学力調査を実施し、児童生徒の学力向上を図ります。

- ・標準学力調査実施事業
(国語・算数のテストを年1回実施。)



財源

市の負担額	109万円
-------	-------

特色ある学校づくり推進事業費 180 万円 (前年度: 180万円)

(担当: 学務課 総務係)

各学校で特色ある学校づくりを実施するため助成します。

1校当たり 20万円程度

夏休み補充学習教室、専門家による書道、合唱、マンドリン、新川古代神指導、ネブタ製作、水泳、学校農園等の指導 等

財源

市の負担額	180万円
-------	-------

土曜授業推進事業費 40 万円 (前年度:40万円)

(担当: 学務課 総務係)

地域人材を活用した多様な学習や体験活動をする土曜授業を実施します。

- ・地域コーディネーター、講師謝礼等

財源

国県支出金	27万円
市の負担額	13万円

教育費

科学・理数・ものづくり教育推進事業費 155 万円 (前年度:154万円)

(担当: 学務課 総務係)

科学・理数教育を推進し、ものづくりのまち滑川にふさわしい人材育成を図ります。

- ・観察実験アシスタント整備事業 55万円
理科の観察実験をサポートする観察実験アシスタントを配置します。
- ・エネルギーに関する教育支援事業 100万円
エネルギーに関する教育に使用する教材を整備します。
ワンダーラボでエネルギーに関する教育を受けます。

財源

国県支出金	118万円
市の負担額	37万円

教育センター運営費 1,154 万円 (前年度:1,131万円)

(担当: 学務課 総務係)

教育センターの各種事業を推進します。

- ・コンピュータコーディネータ(2名) 493万円
- ・センター事務員 121万円
- ・研修会等の開催費 23万円
- ・センターの運営費 309万円
- ・中学校成績管理システム改修業務 50万円
- ・副読本改訂 158万円
〔なめりかわのジオパーク
室山野・東福寺野の台地をひらく
郷土なめりかわのあゆみ〕

財源

市の負担額	1,154万円
-------	---------

学校給食共同調理場管理運営費 6,975 万円 (前年度:7,209万円)

(担当: 学務課 学校給食共同調理場)

市内の小中学生に給食を提供するために必要な調理員等の人件費、燃料費・光熱水費、給食配送委託費など共同調理場の管理運営を行います

- ・調理員報酬等 2,707万円
- ・燃料費・光熱水費 2,024万円
- ・給食配送等の委託料 1,500万円
- ・備品購入費 450万円
- ・施設や調理機器の修繕費 271万円

<参考>

給食数: 3,035食/日 (R1.9.1現在)
年間給食実施数: 196日 (H31年度)

財源

市の負担額	6,975万円
-------	---------

小学校管理費 9,041 万円 (前年度:8,445万円)

(担当: 学務課 総務係)

各小学校の維持管理を行います。

校務助手雇用経費、消耗品、光熱水費
電話料、切手代、備品購入など、小学校の
維持管理経費。

財源

市の負担額	9,041万円
-------	---------

教育費

スクールバス運行管理費 110 万円 (前年度:100万円)

(担当: 学務課 総務係)

通学が困難な山間部に住む児童のために、スクールバスを運行します。

運転手賃金、車両検査料、燃料代など



財源

市の負担額

110万円

小学校教育振興推進費 2,930 万円 (前年度:971万円)

(担当: 学務課 総務係)

各小学校の教育振興を図ります。

教科書や副読本、児童用図書や教材備品など、授業に必要な教材を整備します。

また令和2年度は教科書改訂年度のため、先生用の教科書等を購入します。

財源

市の負担額

2,930万円

小学校情報教育設備充実費 1,777 万円 (前年度:2,484万円)

(担当: 学務課 総務係)

各学校にパソコン及び周辺機器を整備し、CAI（コンピューター支援教育）システム等の情報教育環境を整えます。

- ・ 寺家小学校CAIシステム機器更新
- ・ 各学校CAIシステム維持管理



財源

市の負担額

1,777万円

要・準要保護児童就学援助費 888 万円 (前年度:887万円)

(担当: 学務課 総務係)

経済的な理由から就学が困難な児童の保護者に対し、学用品費や給食費、修学旅行費などを支給することで、教育機会の均等を支援します。

- ・ 学用品等の支給

財源

市の負担額

888万円

教育費

小学校特別支援教育就学奨励費 67 万円 (前年度:60万円)

(担当: 学務課 総務係)

特別支援学級に就学・在籍する児童の保護者等の経済的負担を軽減するため、就学のために必要な経費の一部を助成します。

- ・学用品等の支給

財源

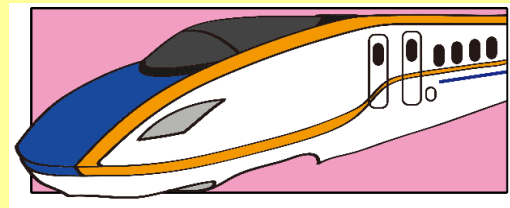
国県支出金	33万円
市の負担額	34万円

新幹線利用姉妹都市交流事業費 260 万円 (前年度:260万円)

(担当: 学務課 総務係)

北陸新幹線を利用し、姉妹都市である長野県小諸市を訪問することで、小諸市への理解と交流を深めます。

- ・北陸新幹線を利用した小諸市との交流事業費



財源

市の負担額	260万円
-------	-------

小学校営繕費 870 万円 (前年度:590万円)

(担当: 学務課 総務係)

小学校の施設及び設備等について、老朽化等による損傷箇所の営繕を実施し、安全で快適な学習環境を確保します。

- ・各学校緊急営繕

財源

市の負担額	870万円
-------	-------

中学校管理費 4,996 万円 (前年度:4,748万円)

(担当: 学務課 総務係)

各中学校の維持管理を行います。

校務助手雇用経費、消耗品、光熱水費、電話料、切手代、備品購入など、小学校の維持管理経費。

財源

市の負担額	4,996万円
-------	---------

教育費

中学校教育振興推進費 779 万円 (前年度:822万円)

(担当: 学務課 総務係)

各中学校の教育振興を図ります。

教科書や副読本、児童用図書や備品など、授業に必要な教材を整備します。

- ・部活動指導員配置事業 73万円
部活動指導員を配置します。



財源

国県支出金	47万円
市の負担額	732万円

中学校情報教育設備充実費 1,459 万円 (前年度:1,486万円)

(担当: 学務課 総務係)

各学校にパソコン及び周辺機器を整備し、CAI（コンピューター支援教育）システム等の情報教育環境を整えます。

- ・CAIシステム機器維持管理事業
中学校の教員、生徒用パソコンシステム等の維持管理を行います。

財源

市の負担額	1,459万円
-------	---------

要・準要保護生徒就学援助費 1,161 万円 (前年度:1,154万円)

(担当: 学務課 総務係)

経済的な理由から就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費、修学旅行費などを支給することで、教育機会の均等を支援します。

- ・学用品等の支給

財源

市の負担額	1,161万円
-------	---------

中学校特別支援教育奨励費 41 万円 (前年度:23万円)

(担当: 学務課 総務係)

特別支援学級に就学・在籍する生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、就学のために必要な経費の一部を助成します。

- ・学用品等の支給

財源

国県支出金	20万円
市の負担額	21万円

中学校営繕費

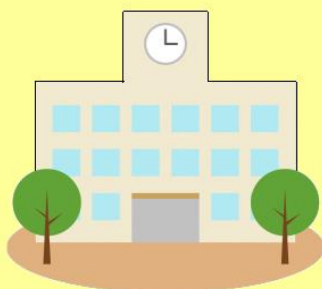
160 万円

(前年度: 160万円)

(担当: 学務課 総務係)

中学校の施設及び設備等について、老朽化等による損傷箇所の営繕を実施し、安全で快適な教育環境を確保します。

- ・各学校緊急営繕



財源

市の負担額

160万円

社会教育委員会費

33 万円

(前年度: 29万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

社会教育委員に対して、市の社会教育及びスポーツ関連の事業について説明、報告します。委員からの意見を参考に、事業改善を図ります。

- ・委員への報酬 20万円
委員13名（市内小中学校長2名を除く）への委員報酬です。
- ・東海北陸社会教育研究愛知県大会の参加費等 13万円



財源

市の負担額

33万円

家庭教育推進費

23 万円

(前年度: 23万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

子どもたちの「心の居場所」となる家庭づくりのために、保護者を対象とした各種講座を開催します。

- ・講師謝礼 21万円
※内訳
「親学び講座」 12万円
幼児、児童、生徒をもつ保護者対象
「子育て講座」 6万円
次年度小学校に入学する子どもをもつ保護者対象
「青少年健全育成に関する講演」 3万円

- ・事務費 2万円



財源

市の負担額

23万円

放課後子ども教室開催費

260 万円

(前年度: 278万円)

(担当: 子ども課 家庭福祉係)

放課後等に全ての児童を対象として、地域住民の参画のもと、学習や体験・交流活動を行い、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

- ・放課後子ども教室
各小学校と子ども図書館において、平日の放課後と夏休み等々に実施。
茶道、工作、スポーツ、学習などの活動を行います。（全8教室）
- ・土曜子ども教室
児童館において土曜日に実施。
クッキング、スポーツ、茶道などの8つのプログラムを実施します。



財源

国県支出金

170万円

市の負担額

90万円

教育費

青少年健全育成事業費 33 万円 (前年度:34万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

青少年の健全な発達を支援するため、青少年育成滑川市民会議の助成とともに、少年補導委員による補導活動や環境浄化活動を推進します。

- ・補導委員謝礼 16万円
委員は20名以内で、年間15回の巡回補導等を実施します。
- ・補導センター運営協議会委員謝礼 7万円
年間2回実施し、活動計画や報告を行い、委員から改善点等を聞きます。
- ・補導センター運営協議会講師謝礼 1万円
- ・青少年育成滑川市民会議助成金 3万円
- ・事務費 6万円

財源

市の負担額 33万円

俳句教室開設費 9 万円 (前年度:9万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

「俳句文芸の町滑川」の継承と発展のため、俳句ポストの設置や、小・中学生対象の俳句教室、一般市民対象の俳句大会を開催します。

- ・俳句教室の開催
講師への謝礼 1万円
- ・俳句大会の開催
講師・俳句選者への謝礼 4万円
- ・広報の俳句ポスト
俳句選者への謝礼 3万円
- ・事務費 1万円



財源

市の負担額 9万円

【一部新】各種団体育成指導費 47 万円 (前年度:32万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地域コミュニティの醸成や新たな担い手の育成のため、市内の社会教育団体に活動費を助成します。

- ・各種団体育成指導事業 32万円
市連合婦人会、児童クラブ連合会に活動費を助成します。

【新】

- ・第68回日本PTA全国研究大会富山大会
開催費補助金 15万円

財源

市の負担額 47万円

成人式開催費 66 万円 (前年度:67万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

新たに成人を迎える若人の前途を祝福するとともに、新成人の代表が実行委員となり、社会人としての自覚と誇りを促すために成人式を実施します。

- ・成人者への記念品 30万円
実行委員会で候補として挙げてもらった品物の中から記念品として渡します。
- ・成人のしおり、案内はがき等 22万円
成人式の案内はがきの印刷と当日配布するしおりを製作します。
- ・成人者、来賓への案内状郵送 4万円
- ・市民会館大ホール使用料 5万円
- ・協力者への謝礼 4万円
- ・事務用品等 1万円



財源

市の負担額 66万円

市美術展開催費

60 万円
(前年度:59万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

美術作品の制作や鑑賞を通じて市民の情感豊かな心を育み、文化の向上を図ることを目指し、「滑川市美術展」を開催します。

- ・ 作品看視員報酬等 7万円
- ・ 審査員や運営委員への謝礼 15万円
- ・ 入賞者賞金 26万円
- ・ ポスター・出品目録印刷代 8万円
- ・ 事務費 4万円



財源

市の負担額

60万円

音楽鑑賞会開催費

33 万円
(前年度:33万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

芸術文化の振興を目的として市内音楽団体に支援を行います。豊かな心の育成と表現力、感受性の向上を目指し、親子向けの音楽鑑賞会を開催します。

- ・ 演奏会開催補助金 10万円
年1回開催される定期演奏会を支援するため市音楽協会と市吹奏楽団に補助金を交付します。
- ・ プロの演奏家による音楽鑑賞会の開催費 23万円
「光のコンサート」の特別ゲスト等による親子を対象としたコンサートを実施します。



財源

その他（基金利子）

1万円

市の負担額

32万円

音楽教室開催費

27 万円
(前年度:27万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

児童・生徒が音楽を通して豊かな心を育むために、各小中学校において講師を招いて音楽教室を開催します。

- ・ 講師への謝礼 27万円
小学校の児童を対象に音楽鑑賞会や実技指導を行ないます。
中学校の吹奏楽部員を対象に講習会を行います。



財源

市の負担額

27万円

舞台芸術鑑賞事業費

30 万円
(前年度:30万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

新川文化ホールでの大規模な舞台芸術等の鑑賞チケット代を助成し、芸術文化の振興を図ります。

- ・ チケット購入費の助成 30万円
1人当たり1回のみ、2千円まで助成。



財源

市の負担額

30万円

教育費

男女共同参画推進事業費 87 万円

(前年度:80万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

男女共同参画社会の実現をめざし、「滑川市男女共同参画計画」に基づき啓発活動を推進します。

- 各地区の推進員による啓発活動
推進員への謝礼 45万円
9地区連絡会への委託料 27万円
推進員保険料 1万円
- 公開講座の開催費 10万円
市民向けに講演会を開催します。
- 事務費 4万円



財源

市の負担額

87万円

学校文化施設開放事業費 40 万円

(前年度:40万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

市民の生涯学習活動の支援を行うため、生涯学習センター(滑川中学校内)、地域交流センター(早月中学校内)の開放を行います。

- 学校文化施設開放事業費 40万円
学校が使用していない夜間、休日の施設管理を委託します。

財源

市の負担額

40万円

【一部新】文化財保存調査費

123 万円

(前年度:147万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

市内にある文化財の保存・管理や調査をします。また市内の土地を開発する際に、事前に埋蔵文化財の有無を確認するため発掘調査します。

- 滑川市内古建築第2次調査(第2回) 10万円
市内の古い建築物の分布や特徴、重要性を確認する調査を行います。
- 【新】市指定天然記念物「エドヒガンザクラの古木(追分)」施肥作業委託
エドヒガンザクラの健康状態向上のため肥料を与えます。
- 市指定天然記念物「門松」剪定(枝の手入れ)作業
- 立山黒部ジオパーク現地見学会の開催 4万円
立山黒部ジオパークに含まれる、市内のジオサイトをめぐる見学会を行います。
- 文化財調査審議会・文化財保護調査委員会の開催 9万円
文化財の調査や指定、保護などについて話し合う会議を開きます。
- 埋蔵文化財調査費および史跡・文化財の維持管理など 59万円
遺跡の発掘調査、遺跡や天然記念物周辺の草刈り、文化財の修繕などをします。
- 史跡などの看板修繕 5万円
市内の遺跡や天然記念物を説明する看板が傷んでいるものを直します。

- 事務費 1万円

財源

市の負担額

123万円

ネブタ流し継承事業費**30 万円****(前年度:30万円)**

(担当: 生涯学習課 振興係)

国指定重要無形民俗文化財「滑川のネブタ流し」を次代へ継承するため、寺家小学校児童へ伝習活動を行い、また保存会へ助成します。

- ・ 来年度用ワラ代 10万円
(収集作業委託費含む)
- ・ 行事保険料 1万円
- ・ ネブタ流し保存会補助金 10万円
(4町内会)
- ・ 事務費 1万円
- 【寺家小分】
- ・ ネブタ材料代 5万円
(竹材、木材、藁縄、野菜など)
- ・ ネブタ製作指導謝礼、運搬・組立費 3万円

財源

市の負担額

30万円

【新】文化・スポーツ振興財団活動助成金**800 万円****(前年度:一万円)**

(担当: 生涯学習課 振興係)

滑川市文化・スポーツ振興財団が実施する自主・協賛事業に対し助成します。

- ・ 文化・スポーツ振興財団活動助成金
800万円



財源

市の負担額

800万円

ディスカバー「滑川」ふれあい事業費**79 万円****(前年度:83万円)**

(担当: 生涯学習課 振興係)

学校と地域の連携をいっそう深め、協力しながら児童・生徒を育み、地域社会や家庭の教育力を高め、児童・生徒が地域へ働きかける体験活動を通して、主体的に判断し、行動する能力を身に付けるため、4つの活動を柱に実施します。

- ・ 学校地域交流事業 34万円
市内小中学校の児童会や生徒会が中心となり、地域清掃、募金活動、エコキャップ回収などのボランティア活動や、あいさつ運動、高齢者や障害者との心のふれあい活動を推進します。
- ・ ふるさと探検事業 11万円
滑川のよさを見直し、ふるさとに対する愛着を深めるために、小学生とその保護者を対象に、滑川の自然・文化・歴史に関する体験学習を実施します。
ホタルイカ解剖教室 なめりかわ食育教室 ホタル鑑賞のつどい 等
- ・ 郷土偉人顕彰事業 18万円
郷土の偉人の業績を周知し、郷土を愛する心を育てます。
東福寺野自然公園写真会 ちょっと寄り道コンサート 展示会
- ・ 子どもサミット事業 16万円
次代に活躍する子供たちの代表が一堂に会し、「滑川」の将来について意見交換します。
事前に体験学習や研修を行い、会議の活性化を図ります。



財源

市の負担額

79万円

教育費

【新】ふれあいのバス派遣事業費 243 万円 (前年度:一万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

姉妹都市豊頃町へ小学生を派遣し、ホームステイ交流を通して、相互理解と友好親善を図ります。

- ・ふれあいのバス事業旅行業務委託料
- ・その他派遣に必要な経費



財源

その他(参加者負担金)	100万円
市の負担額	143万円

社会教育事務費 188 万円 (前年度:67万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

社会教育に関する事業や事務を行います。

- ・社会教育指導員報酬等 121万円
社会教育の振興を図ることを目的に、博物館に1名配置します。
- ・全国大会、地区大会出場者激励金 7万円
- ・庁用車維持管理経費 28万円
- ・青少年文化財体験学習施設維持管理経費 15万円
光熱水費、消防設備の保守点検など
- ・宿場回廊案内板、輪転機などの修繕料 8万円
- ・事務費等 9万円

財源

市の負担額	188万円
-------	-------

【新】海外派遣事業費

1,733 万円
(前年度: 一万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

姉妹都市シャンバーグ(米国)へ中学生と市内の経済団体の会員等を派遣し、交流の促進を図るため文化交流、同世代交流、経済交流などを行います。

- ・海外派遣事業旅行業務委託料
- ・その他派遣に必要な経費

- 派遣先 シャンバーグ、シカゴ(米国)
- 派遣時期 8月
- 派遣団員 中学生、市内経済団体の会員等
- 主な活動 市役所表敬訪問、各施設等の見学
日本の文化、スポーツ、郷土文化の紹介と同世代交流、ホームステイ(中学生)
日本企業の視察、現地経済団体との意見交換(中学生以外)



財源

その他(参加者負担金)	500万円
市の負担額	1,233万円

公民館運営審議会委員費 14 万円

(前年度:14万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

公民館の事業について公民館運営審議会を開催し、事業や運営について審議します。

- ・ 委員への報酬 13万円
- ・ その他事務費 1万円

年に2回公民館運営審議会を開催し、中央公民館と地区公民館の事業や運営について報告説明し、審議会委員が審議します。



財源

市の負担額

14万円

心豊かなまちづくり推進費 135 万円

(前年度:135万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地区公民館を拠点に、各種体験教室や多世代交流活動、地元の文化や歴史を学ぶふるさと教育の推進を図ります。

- ・ 委託料 135万円
「心豊かなまちづくり推進事業」の実施を9地区公民館に委託します。

※事業の内容

- ・ 地域の人材を活かした多世代のふれあい活動を実施します。
- ・ ふるさと滑川の歴史・文化に対する理解を深め愛着を育むふるさと講座を開催します。



財源

市の負担額

135万円

社会教育活動総合事業費

158 万円

(前年度: 145万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

いつでも、どこでも、誰もが、自ら気軽に学べるよう、各世代の生涯学習の機会を提供するため、各種教養講座、教養教室等を開催します。また、生涯学習情報紙を発行し、市民の生涯学習に関する関心を高め、参加の促進を図ります。

- ・ ふるさと市民大学 40万円
各界で活躍中の郷土出身の講師を招き、政治、経済、科学文化、芸術、芸能など一般教養を主とした講座を開催します。
- ・ 福寿大学 26万円
市内在住60歳以上の市民を対象として、各種教養講座の開催や野外活動等を実施します。
- ・ 中央公民館教養教室、くらしの窓（教養講座） 45万円
料理、パソコン活用、花遊び、各種体験教室を開催します。各種趣味の講座を開催し、趣味を生かしてのサークル活動を進めるとともに生きがいづくりを図ります。
- ・ 遊学のまち発行 17万円
情報紙「遊学のまち」を年2回、全戸配布し、市民に生涯学習の情報を提供します。
- ・ 生涯学習センターパソコンリース料 30万円
市民のパソコン教養教室等に使用します。

財源

市の負担額

158万円

教育費

郷土芸能活性化事業費

73 万円

(前年度: 124万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

伝統文化の保存と継承を図るため、郷土芸能育成団体へ助成を行うほか、全小中学校で保存会等と連携し、新川古代神の伝承活動を実施します。

- ・講師謝礼 30万円
新川古代神踊りの指導のために、全小中学校に講師を派遣します。
小学校は運動会で、中学校は龍宮まつり、体育大会で披露します。
- ・扇子、あじろ笠等の購入 34万円
新川古代神踊りで使用する物品を購入し、全小中学校へ配布します。
- ・郷土芸能育成団体への運営補助金 9万円

内訳

新川古代神保存会	5万円
加島町獅子舞保存会	2万円
松坂踊り保存会	2万円



財源

市の負担額

73万円

地区公民館活動推進費

2,816 万円

(前年度: 1,086万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地区公民館の活動を推進します。

- ・報酬等 1,723万円
市内9地区公民館に館長・主事・主事補・指導員を各1名、1分館に分館長1名を配置します。
- ・コミュニティづくり推進事業委託料 370万円
地区公民館を拠点とした活動を助成します。
「コミュニティづくり推進事業」の実施を9地区公民館・1分館に委託します。
- ・公民館管理費 723万円
光熱水費、総合保険加入委託料、設備点検料
NHK受信料、CATV利用料を支出します。

財源

市の負担額

2,816万円

地区公民館整備費

133 万円

(前年度: 80万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地区公民館の損傷箇所を修繕し、快適に利用できるように整備します。

- ・滑川東地区公民館和室畳取替
- ・滑川東地区公民館大研修室床補修
- ・早月加積地区公民館壁修繕
- ・東加積地区公民館自動火災報知設備火災受信機更新
- ・その他各地区公民館の修繕等

財源

市の負担額

133万円

中央公民館管理運営費 622 万円

(前年度:415万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

中央公民館の運営を行います。

- ・ 公民館職員の報酬等 587万円
- ・ 消耗品費等 22万円
新聞代、事務用品、掃除用具、参考書などの購入費用、印刷費
- ・ 電話代、切手代 7万円
- ・ 使用料 6万円
NHK受信料、印刷機のリース料

財源

市の負担額

622万円

公民館事務費 44 万円

(前年度:44万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

公民館に関する事業や事務を行います。

- ・ 消耗品費・諸費 5万円
- ・ 保険料 5万円
地区公民館の建物総合損害共済金
- ・ 感謝状筆耕料 3万円
- ・ 土地使用料 2万円
- ・ 負担金、補助金
県公民館連合会分担金 14万円
東海北陸公民館大会（福井県）参加補助金 15万円

財源

市の負担額

44万円

図書館管理費 2,167 万円

(前年度:1,618万円)

(担当: 生涯学習課 図書館)

施設の維持・管理を行います。

- ・ 警備、空調設備やエレベーター等の保守点検清掃等 681万円
- ・ 電気、水道代 468万円
- ・ 各種機器（防犯カメラ、コピー機等）リース及びレンタル料 66万円
- ・ 館内設備等修理費 30万円
- ・ 電話代 12万円
- ・ 管理用消耗品（トイレトーパー、清掃用品、蛍光灯等） 7万円
- ・ その他事務費（保険料等） 4万円
- ・ 樹木剪定伐採等

財源

市の負担額

2,167万円

図書館運営費 1,746 万円

(前年度:1,706万円)

(担当: 生涯学習課 図書館)

図書の貸出や収集等、図書館の運営を行います。

- ・ 図書、雑誌等の購入及び登録経費（登録用システム使用料含む） 666万円
- ・ 図書館システム経費 281万円
- ・ 受付窓口補助員の報酬等 669万円
- ・ 読書会等講師謝礼 13万円
- ・ 運営用消耗品（レシート用紙、バーコード、新聞、官報等） 53万円
- ・ 新聞、郷土資料等製本費 4万円
- ・ 喫茶コーナー消耗品（コーヒー豆、洗剤等） 24万円
- ・ インターネット使用料 9万円
- ・ 協会費、負担金等（日本図書館協会、富山県図書館協会等） 6万円
- ・ 図書館協議会委員報酬 6万円
- ・ その他事務費（郵便料等） 15万円

財源

その他（喫茶売上金）

68万円

市の負担額

1,678万円

教育費

子ども図書館管理運営費 1,652 万円 (前年度:1,617万円)

(担当: 生涯学習課 子ども図書館)

子育て支援機能を併せ持つ子ども図書館の管理運営を行います。

- ・司書、保育士、受付窓口補助員の報酬等 1,154万円
- ・館内展示作品制作謝礼 5万円
- ・運営用消耗品（レシート用紙、バーコード、清掃用品等） 68万円
- ・図書、施設修理経費 8万円
- ・電話料・郵便料 16万円
- ・図書館システム経費 51万円
- ・運営用機器（防犯カメラ、コピー機等）リース経費 36万円
- ・図書、雑誌等の購入、登録経費 132万円
- ・交流プラザ共益費（電気・水道・清掃等） 180万円
- ・負担金等 2万円

財源

市の負担額 1,652万円

本とのふれあい推進事業費 68 万円 (前年度:68万円)

(担当: 生涯学習課 子ども図書館)

子どもたちの読書活動の支援、子育て支援を目的とし、子ども図書館において、おはなし会、ワークショップ等を開催します。

- ・おはなし会、子ども映写会 6万円
- ・子育て支援講座、ワークショップ、子どもおたのしみ会 39万円
- ・ブックスタート事業 17万円
滑川市のすべての赤ちゃんに絵本を1冊プレゼントします。
(4か月児健診受診後～1歳の誕生日)
- ・県図書館協会ナビゲーション事業 6万円
市内各小学校において出張おはなし会を実施します。また、読み聞かせボランティア等を対象に、読み聞かせ講習会を開催します。



財源

その他（県図書館協会） 3万円
市の負担額 65万円

博物館管理費 1,454 万円 (前年度:1,257万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

博物館の維持、管理を行います。

- ・警備、空調設備やエレベーターなどの点検、清掃など 499万円
- ・電気・水道代 367万円
- ・電話代 19万円
- ・館内設備修理等 445万円
- ・車リース料・燃料代（2台分） 77万円
- ・事務費 47万円

財源

市の負担額 1,454万円

博物館運営費 270 万円 (前年度:314万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

滑川市美術協会や市内の連盟（日本画・洋画・工芸・書道・写真）の作品展の開催や、博物館資料の収集などをします。

- ・資料購入代 42万円
- ・美術協会展・連盟展の開催 8万円
- ・博物館協議会の開催 7万円
- ・博物館だより印刷代 5万円
年1回「博物館だより」を作成し、県内外の博物館、美術館などへ配布します。
- ・各種協議会などの参加負担金・旅費 12万円
日本博物館協会、富山県博物館協会などに加入し、情報共有・交換を図ります。
- ・夕焼けコンサート開催費 4万円
展覧会の開催時期に夕焼けをバックに音楽鑑賞を楽しみます。
- ・事務費 38万円
- ・ミュージアムカフェ運営費 154万円

財源

その他（カフェ売上金） 30万円
市の負担額 240万円

【新】展覧会等開催費

295 万円

(前年度:300万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

「水野利詩恵展(仮題)」(4~5月)、「滑川スポーツ史(仮題)」(7~9月)、「堀江荘展(仮題)」(11~12月)を開催予定です。またミニ展示として「魚躬遺跡発掘速報展(仮題)」(時期未定)を行います。

【新】「水野利詩恵展(仮題)」(4~5月) 79万円

滑川に制作拠点を構え、自由美術協会展を中心に県内外で活躍されている水野利詩恵氏の画業を振り返るとともに、近作・新作を紹介します。

【新】「滑川スポーツ史(仮題)」(7~9月) 151万円

2020年夏は東京オリンピックが開催されるとともに、日本の夏を彩る全国高校野球選手権大会も行われ、朝乃山関の活躍も期待されています。富山県内でもスポーツ熱が高まることが予想されることから、滑川ゆかりのスポーツ選手・チーム、滑川でも盛んだった相撲を取り上げて紹介します。

【新】「堀江荘展(仮題)」(11~12月) 62万円

平安時代末から室町時代後期頃まで、現在の滑川市から富山市・上市町にかけての地域に広がっていた荘園「堀江荘」について紹介します。

【新】「魚躬遺跡発掘速報展(仮題)」(時期未定) 3万円

2019年に試掘調査を実施した魚躬遺跡からは、弥生時代~古墳時代を中心とした様々な土器が出土しました。この調査成果を中心に、魚躬遺跡について紹介します。

市の負担額

295万円

子ども科学教室開催費

39 万円

(前年度:39万円)

(担当: 生涯学習課 博物館)

小・中学生を対象とした自然観察教室(化石教室、植物探検にいこう!、川であそぼう!!、天文教室)を開催し、またロボットセミナーの開催を助成します。

- ・自然観察教室上級(化石教室) 12万円
市内外での化石採集や地層観察をします。
- ・自然観察教室初級(植物探検にいこう!、川であそぼう!!) 8万円
春と秋の草花観察や川あそびなどをします。
- ・天文教室 6万円
春~夏、秋~冬の星空観察や、中秋の名月を観賞します。
- ・ロボットセミナー開催補助 10万円
ロボットを製作して、競技を行う「少年少女ロボットセミナー in 滑川」の開催を補助します。
- ・事務費 3万円

財源

市の負担額

39万円

青志会館管理運営費

505 万円

(前年度:498万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

地域交流センター青志会館の管理運営を行います。

- ・事務員の報酬等 351万円
- ・教養教室 10万円
- ・青志会館管理運営費 144万円
消耗品、光熱水費、切手代、電話料金、設備の保守点検などの経費

地域住民を対象とし、趣味・特技を生かした教養教室やスポーツ教室の開設、サークル活動や余暇を楽しむための施設の提供などを行っています。



財源

市の負担額

505万円

教育費

働く婦人の家管理運営費 701 万円 (前年度:678万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

働く婦人の家の管理運営を行います。

- ・館長・事務員の報酬等 484万円
- ・教養教室、啓発講座講師謝礼 57万円
- ・働く婦人の家管理運営費 160万円
消耗品、光熱水費、切手代、電話料金、設備の保守点検、テレビの受信料、コピー機の使用料などの経費

働く女性と勤労者家庭の主婦をおもに対象とし、技術や教養を習得する教養講座の開設、サークル活動や仲間づくりの場としての施設の提供などを行なっています。

財源

市の負担額 701万円

青雲閣管理運営費 2,152 万円 (前年度:2,179万円)

(担当: 生涯学習課 振興係)

東福寺野自然公園研修センター青雲閣の管理運営を行います。

- ・青雲閣指定管理料 2,134万円
(文化・スポーツ振興財団へ指定管理)
- ・マイクロバス車検料 13万円
青雲閣が所有するマイクロバスの車検費用
- ・マイクロバス重量税 3万円
- ・建物損害共済 2万円

財源

市の負担額 2,152万円

スポーツ推進委員費 255 万円 (前年度:253万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内9地区の公民館より選出されたスポーツ推進委員の活動を支援します。スポーツ推進委員は、各地区のスポーツ行事や市のスポーツイベントの運営、ニュースポーツの普及、研修による資質向上を図ります。

- ・スポーツ推進委員40名に対する報酬費 220万円
- ・年2回作成の広報誌(スポーツパラダイス)印刷費用 5万円
- ・スポーツ推進委員が加入する保険料8万円
- ・市スポーツ推進委員協議会で行われる研修会を支援 2万円
- ・全国、北陸地区、県の負担金や研修会参加費用助成 20万円

財源

市の負担額 255万円

市民体育大会費 175 万円 (前年度:175万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市民体育大会の開催を市体育協会に委託しています。24競技が行われ、県民体育大会の予選会として毎年開催しています。

- ・第73回市民体育大会開催費 175万円
(市体育協会へ委託)
大会賞状の印刷費や、選手保険料、大会運営に係る審判謝礼や消耗品、会場使用料等に充てられます。



財源

市の負担額 175万円

【一部新】市民スポーツ振興費 353 万円
(前年度:337万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市民スポーツ大会を開催する費用や、全国大会へ出場する選手(一般)への激励費、スポーツ少年団への補助金など、市のスポーツの振興を目的として助成します。

- ・スポーツ振興審議会(年2回)委員報酬 7万円
委員8名(内1名中学校長)
- ・国民体育大会、全国大会激励費 30万円
上記大会へ出場する市出身選手を激励します。
- ・各種大会助成費 208万円
県民体育大会への派遣費や各種市民スポーツ大会の開催費(10種目+武道大会)を市体育協会へ委託。
- ・各種補助金 92万円
スポーツ少年団育成補助25万円(25団体)
バス運行補助金63万円(市体育協会へ)
各種大会(市民ゴルフ等)への協賛金 4万円

【新】市民のスポーツに関する意識調査を実施し、滑川市生涯スポーツプランの見直しを行います。 16万円

財源

市の負担額 353万円

総合型地域スポーツクラブ 育成支援事業費 150 万円
(前年度:150万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

総合型地域スポーツクラブ「なめりCANクラブ」の活動に対して助成します。クラブで行われている、市民の皆様が生涯にわたり健康で明るく充実した生活を送るための活動を支援します。

- ・なめりCANクラブへの補助金 150万円
スポーツ教室やイベント等の開催、スポーツ情報の提供、クラブの運営に関する事務等、クラブの活動を支援します。



財源

市の負担額 150万円

温水プール運営費補助金 1,374 万円
(前年度:1,374万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内唯一の温水プールである、滑川室内温水プール(運営:公益財団法人体力づくり指導協会)の運営費等について、助成します。

- ・運営補助金 計1,374万円
運営管理補助として 1,344万円
下水道使用料助成として 30万円



財源

市の負担額 1,374万円

スポーツエキスパート派遣事業費 70 万円
(前年度:70万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内中学校の運動部へ専門的な経験をもつ外部指導者を派遣します。運動部生徒の競技力向上を図り、活動が充実したものになるように支援します。

- ・1回2,000円、年間24回で、両中学校合わせて最大14名の派遣費用 67万円
(県補助事業 報償費の1/3)
- ・スポーツエキスパートが加入する保険料 3万円



財源

国県支出金 22万円
市の負担額 48万円

教育費

トップアスリート育成費

469 万円

(前年度:480万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

2020年東京オリンピック・パラリンピックをはじめとした将来の大会を見据え、本市のジュニアアスリート等の育成や支援を行います。トップアスリートを招いた講習会や、中学3年生対象のトレーニングスクール、屋内運動場で冬期トレーニング講習会、指導者養成を目的とした市民スポーツ大学なども開催します。

- ・ ① 全国・北信越中学校体育大会へ出場する中学生への交通費、宿泊費を助成します。
- ・ ② 小中高生の全国大会等出場者に対し激励費を支給します。
【全国大会】 10,000円 【北信越大会】 5,000円
- ・ ③ 国際大会出場者への激励費を支給します。
- ・ ④ 市が主催するスポーツトレーニングスクールに特別講師を招きます。
- ・ ⑤ トップアスリートを招き、講演会や実技指導の講習会を開催します。
- ・ ⑥ 屋内運動場を利用した冬場のトレーニング講習会を行います。 計 205万円

・ 参加者ユニフォーム費用10万円、各種イベント等チラシ印刷費7万円

・ 保険料 (県駅伝選手、トレーニングスクール参加者、トップアスリート講習会) 5万円
国際大会出場者 応援懸垂幕設置費用 6万円

・ (市体育協会に委託) 計210万円
競技団体等強化育成費180万円、市民スポーツ大学開催費10万円、
ジュニアスポーツ教室開催費20万円

・ 各種会場使用料 6万円

・ 中学校競技専門部強化育成補助金 20万円
(市中学校体育連盟へ助成)



財源

市の負担額

469万円

子どもの体力向上推進事業費 66 万円

(前年度:67万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

子どもの体力向上について、市内全認定こども園、幼稚園、保育園、小学校、中学校と連携し、継続的な視点での取り組みを支援します。

- ・ 幼・保・小学校にプレイリーダーを派遣 (年2回程度) して、運動好きな子どもの育成に継続的に取組みます。 53万円
指導者(教諭)研修会の講師謝礼 1万円
- ・ 小中学生の体力テスト結果や各学校の取組状況を掲載した「子どもの体力向上への取組報告書」を作製。 5万円
- ・ 研修会、会議でのお茶代 1万円
- ・ 研修会、運動教室の保険料 1万円
- ・ スポーツ少年団交流大会開催委託料 5万円
(市スポーツ少年団へ委託)

財源

国県支出金 10万円
市の負担額 56万円

ジュニアスポーツサポート事業 29 万円

(前年度:30万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

平日夕方の時間帯、中学生を対象に、専門的な知識をもつ指導者が、質の高い基礎トレーニング等を行い、体力向上・競技力向上を目指します。

- ・ 講師謝礼(専門的な指導者等) 19万円
- ・ チラシ印刷費 3万円
- ・ 参加者保険料 4万円
- ・ 会場使用料 3万円



財源

市の負担額

29万円

ほたるいかマラソン開催助成費 200 万円
(前年度:200万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

マラソンを通して健康増進・交流を図ることを目的に、毎年10月に開催しています。本市最大のスポーツイベントで、近年のマラソンブームで参加者が年々増加しています。

- 第24回ほたるいかマラソン運営補助金 200万円
(市体育協会へ補助)

【過去のゲストランナー】

高橋尚子さん、有森裕子さん、増田明美さん
間 寛平さん、東国原英夫さん、石原良純さん
東洋大学陸上競技部女子長距離部門の皆さん
エリック・ワイナイナさん
川内勇輝さん、野々村真さん など



財源

市の負担額

200万円

バウンドテニス交流大会開催費 20 万円
(前年度:25万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

第9回滑川キラリン杯バウンドテニス交流大会の開催を支援します。県外からの参加者が多く、バウンドテニスを通じて交流を図る他、スポーツ観光を推進します。

- 大会実行委員会に対し、開催費を助成します。



財源

市の負担額

20万円

市民スポーツフェスタ開催費 50 万円
(前年度: 50万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市民参加型の総合スポーツイベント「第8回市民スポーツフェスタ」の開催を市体育協会へ委託します。

- (市体育協会へ委託) 50万円

市内で開催されるスポーツイベントの総合開会式としてオープニングセレモニーを開催しています。各競技団体、スポーツ少年団、老人クラブの皆さんなど、約700名が集まり、スポーツ意識の高揚を図ります。

セレモニー終了後は、スポーツ体験イベントやスポーツ施設の無料開放、各競技団体の市民体育大会が開催されます。



財源

市の負担額

50万円

夢の教室開催費 228 万円
(前年度:227万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

現役のスポーツ選手やそのOB/OGを「夢先生」として迎え、小学校5年生、中学校2年生の全学級において特別授業を実施します。中学校においてスポーツ教室を各1回実施します。

- 日本サッカー協会・こころのプロジェク推進室に委託 225万円



財源

市の負担額

228万円

教育費

スポーツ・健康づくり推進事業費

80 万円

(前年度:95万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

ウォーキング・ラジオ体操等の軽運動の推進やウォーキングサッカー教室の開催、健康ポイント等の実施により、特に高齢者等のスポーツ実施率向上を図り、スポーツを通じた健康長寿社会の創生を目指します。

- ・「朝のつどい」を市体育協会と合同で開催します。
4月～10月 土曜の早朝にスポーツ・健康の森公園、総合体育センターで、ラジオ体操やヨガ等軽運動を実施。
- ・キラリン健康ポイントを実施します。
検診の受診や運動教室への参加、健康づくり・スポーツ施設の利用、ウォーキングコースの利用等でポイントを貯めたら、抽選で記念品を贈呈します。
- ・ウォーキングを推進します。
健康ウォーキング指導士による教室の開催や、市内ウォーキングコースへの誘導看板を計画的に設置しています。
ウォーキングしながら本市の観光等に親しめるイベントも実施します。(なめりCANクラブへ委託)

- ・講師謝礼11万円、健康ポイント賞品10万円
- ・各種チラシ印刷18万円、健康ポイント参加賞等4万円
- ・各種教室保険料2万円、切手代2万円
- ・ウォーキング事業(なめりCANクラブへ委託) 8万円
- ・ウォーキングコース誘導看板設置費(1コース) 25万円



財源

市の負担額

80万円

宇津木杯ソフトボール交流大会開催費

80 万円

(前年度:95万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

元女子ソフトボール日本代表監督の宇津木妙子氏の来滑を記念し、宇津木杯ソフトボール交流大会を開催することにより、ジュニア層の競技力向上を目指すもの。

- ・中学生を対象に県内外の強豪チームを参集し、交流大会を開催します。
また、トップアスリートによるソフトボール教室も併せて行います。
- ・審判及び講師謝礼60万円
- ・チラシ印刷費5万円
- ・大会参加賞等消耗品費13万円
- ・参加者保険料 1 万円
- ・会場借上料 1 万円



財源

市の負担額

80万円

ウォーキングサッカー大会開催費 46 万円 (前年度:44万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

老若男女、だれもが気軽に楽しめるウォーキングサッカーの大会を開催し、仲間と交流し、楽しみながら健康づくりができる機会をつくります。

- 大会に講師を迎え、大会を盛り上げます。
講師謝礼、審判謝礼 21万円
講師旅費 5万円
- 大会用品、賞品、チラシ印刷等 15万円
- 大会参加者の保険料 3万円
- 会場使用料、講師宿泊 2万円



財源

市の負担額 46万円

保健体育事務費 507 万円 (前年度:513万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

スポーツに関する事業や事務を行います。

- スポーツ推進委員研究協議会参加旅費 6万円
全国各地で開催される研修会への旅費です。
職員1名参加
(R2: 栃木県宇都宮市、新潟県長岡市)
- 事務用品の購入 5万円
庁用車燃料代 10万円
単位協会総会用諸費 1万円
- 切手代 4万円
- 庁用車リース料 36万円
たくさん荷物を載せることのできる車をリースしています。イベントや行事の時は大活躍します。
- 県社会教育主事派遣事業負担金 443万円
スポーツ推進委員研究協議会、
県体育施設協会負担金 2万円



財源

市の負担額 507万円

【新】東京2020オリンピック振興費

350 万円
(前年度: -万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に伴い、関係事業を行うことによりスポーツの振興を図ります。

○聖火リレー開催費 250万円

東京2020オリンピック聖火リレー及びミニセレブレーションを開催します。

- 主演団体及びボランティア謝金
- 会場消耗品、手旗等
- ステージバックパネル作成委託
- 応援送迎バス利用料
- 市町村負担金 等



○滑川市民体育祭開催費 100万円

東京2020オリンピック・パラリンピック開催を記念し、第3回滑川市民体育祭を開催します。

- 講師、審判謝礼
- 大会参加賞、副賞
- 競技用消耗品、大会プログラム印刷費等
- 大会参加者の保険料
- 地区公民館大会参加委託料
- 競技用品レンタル料 等



財源

市の負担額 350万円

教育費

社会体育施設管理費

513 万円
(前年度:515万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

市内小中学校グラウンド・体育館の市民への開放や、下梅沢テニスコート等の社会体育施設を適切に管理し、市民スポーツの振興を図ります。

- ・ 学校開放用消耗品費 20万円
申請書等印刷費 1万円
グラウンド・体育館照明電気料 292万円
施設修繕料 30万円
- ・ 建物総合損害共済掛金 26万円
体育館清掃モップクリーニング 9万円
- ・ 下梅沢テニスコート指定管理料 111万円
(市体育協会へ指定管理)
千鳥スキー場指定管理料 15万円
(管理運営委員会へ指定管理)
滑川中学校夜間照明保安管理業務 9万円



財源

その他(使用料等)	170万円
市の負担額	343万円

テニス村管理運営費

3,959 万円
(前年度:3,949万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

みのわ温泉テニス村の管理運営について、市文化・スポーツ振興財団へ指定管理しています。年間約5万人が施設を利用しています。

- ・ 指定委託料 3,644万円
(市文化・スポーツ振興財団へ指定管理)
- ・ 各種修繕委託 300万円
- ・ 駐車場用地借上げ 15万円



財源

市の負担額	3,959万円
-------	---------

総合体育センター管理運営費

2,648 万円
(前年度:2,691万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

総合体育センターの管理運営について、市体育協会へ指定管理しています。年間約11万人が施設を利用しています。

- ・ 指定管理料 2,648万円
(市体育協会へ指定管理)



財源

市の負担額	2,648万円
-------	---------

総合体育センター整備費

190 万円

(前年度:200万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

総合体育センターの修繕、改修を計画的に実施し、施設の長寿命化を図ります。

- ・ ガスヒートポンプ点検等業務委託
- ・ 武道館非常用照明バッテリー取替工事



財源

市の負担額	190万円
-------	-------

スポーツ・健康の森公園管理運営費 2,238 万円
(前年度:2,244万円)

(担当: スポーツ課 振興係)

スポーツ・健康の森公園の管理運営について、市体育協会へ指定管理しています。

- ・ 指定管理料 2,195万円
(市体育協会へ指定管理)
- ・ 公園修繕料等 25万円
- ・ 作業用軽トラ等リース料 18万円



財源

その他(公園使用料等)	110万円
市の負担額	2,128万円

